



1. CSC スーパーコンピューターの運用開始式が開催

3月19日に国際核融合エネルギー研究センターの計算機・遠隔実験棟において計算機シミュレーションセンター(CSC)スーパーコンピューター(以下「スパコン」という。)の運用開始式が奥村文部科学副大臣, 三村青森県知事, 古川六ヶ所村村長, シュチュワート・ワードF4E理事会議長, パスカル・ギャラン CEA 核融合副部長を初めとする内外の来賓も含め130名以上が参加して開催された。来賓の祝辞の後, 六ヶ所村内の子どもたちから募集し, 選ばれたスパコンの愛称「六ちゃん」がくす玉を割ってお披露目された(図1参照)。また, 中島IFERC事業長からスパコンの概要と最初の計算結果の紹介があり, 出席者によるスパコンの見学も行われた。

現在, 既に運用が開始されているスパコンでは, 灯台的プロジェクトと呼ばれる日欧各2つの計算コードが稼働しており, 4月以降は, 昨年末に公募された研究開発課題についての一般ユーザーによる使用が始まる。予定では, その前に再びLINPACKでの試験を行い, 目標値を超える1.3ペタフロップス以上の性能が出るかどうかを試みる(出れば現在世界5位が4位となる)。

2. IFERC 事業委員会を開催

3月19日~20日に, 第10回のIFERC事業委員会が国際核融合エネルギー研究センターにおいて開催された。今回は, 欧州から, デイビッド・メゾニエ議長を含め委員3名と専門家4名(委員1名, 専門家2名はTV会議で参加), 日本側は, 委員2名と専門家8名, これに中島事業長および事業チーム員7名と事務局1名, 書記1名の計26名が参加した(図2参照)。

今回の事業委員会では, 2011年のIFERC事業の年次報告を確認し, それを反映した事業計画の改訂案を審議し



図1 CSC スーパーコンピューターの運用開始式(平成24年3月19日, 国際核融合エネルギー研究センター, 計算機・遠隔実験棟において)。

て, 4月に開催されるBA運営委員会への勧告をまとめた。また, 原型炉設計の一環として, 核融合炉の安全性についての研究の開始も事業計画案に盛り込まれた。

3. 原型炉 R&D 棟に放射線管理区域を設定し, RI を搬入

昨年7月にRIの使用許可が下りていたが, RIの払い出し施設の震災被害等のために延期されていた原型炉R&D棟の放射線管理区域の設定が2月27日に行われ, これに先立ち, 関係者に入退室管理説明が実施された(図3参照)。3月13日には最初のRIとしてトリチウム(水状, 合計約38GBq)が搬入された。本格的にRIを使用する試験は来年度から開始される予定。

4. IFMIF/EVEDA の施設に関する状況

大洗のリチウムループでは, 1月末に完了した復旧工事に引き続き, 修復したループの耐圧検査, 最上階にあるターゲットアセンブリ収納部の真空引きなどの検査作業を2月27日に終了し, 4月からのループの再立ち上げに向



図2 IFERC 事業委員会の参加者(記念写真を豪雪のIFERCサイトをバックに…)。



図3 原型炉 R&D 棟の管理区域設定に伴う入退室管理説明。



図4 IFMIF/EVEDA 開発試験棟の二次冷却水設備（冷却塔）の配管作業（左）、電気設備（屋外受配電盤）の搬入作業（右）。

け、3月初めから事前点検作業にとりかかっている。

六ヶ所では、雪の中、二次冷却水設備と、電気設備の屋外受配電盤及び屋内電源盤の搬入が行われた。（図4参照）また、放射線モニタリングシステムの製作も進められてい

る。電気設備及び放射線モニタリングシステムは平成24年3月末に、また、二次冷却水設備は平成24年4月に竣工予定である。

（日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門）

青森温泉巡り

その11

下風呂温泉 — 湯よし、食よし、人情よし —

青森県で一番お薦めの温泉はどこ？と聞かれたなら、私は即答します。『泊まるなら、下風呂温泉！！』むつ市から大間に向かう途中、津軽海峡に面した漁港のそばに位置する、10軒あまりのホテルや旅館、民宿からなる温泉郷です。井上靖が『海峡』を執筆した長谷旅館も老舗の1軒です。

まず湯。いいです。海のそばにありながら、濃い硫黄泉なのです。日本全国、海のそばの温泉というと海水を薄めただけの成分が多い中、まったりと濃い、本格的な硫黄泉です。次に食、津軽海峡でとれる海産物の新鮮で美味しいこと。私は下風呂温泉ではじめて本当のウニとアワビの味を知りました。

でも、本当にいいのは人情です。どの旅館もマニュアル的でない、真心を込めた接待をしてくれます。ここを訪れるのなら是非、宿泊して、その真心に触れてみてく

ださい。

温泉街に何軒かのスナックがあります。雪の中、下駄の音を響かせながらドアを開ける。そこでもきっと、人情の厚さを感じる筈です。

下風呂温泉には新湯、大湯と呼ばれる二つの共同浴場がある。右の写真は大湯。



下風呂温泉のホームページ
<http://www.shimohuro.com/>